

2020年東京オリンピック・パラリンピックをどう活かすか

～単なる経済効果にとどまらず、日本社会再生のための“大きなうねり”とするために～

資料1-1

2020年は日本にとって新たな成長に向かうターゲット・イヤー ～「2020ニッポン再生—夢ビジョンJAPAN」(仮称)～

コンセプト

オリンピック・パラリンピックの開催成功はもとより、日本社会を元気にする取組を社会総がかりで直ちに推進することが重要

2020夢ビジョンJAPAN

各界の叡智を結集し、若者をはじめとする国民総参加型の大きなうねりを創出
(東京にとどまらない日本全体への波及効果)

2020年に目指すべき姿

課題先進国として、世界に先駆けて社会課題を解決

我が国の強み

- しなやかで災害に強いまちづくり
- 元気な東北より、東日本大震災・原発事故からの復興を世界に発信
- 世界で勝てる人材育成
- 科学技術イノベーションによる健康長寿で、環境に優しい、省エネな社会
- 世界の人々が日本各地を歩き交う、文化芸術あふれる社会
- 新たなフロンティアを創造
- 幸福を実感できる社会
- 若者等によるボランティアがつくる参加型社会 etc

○勤勉性、協調性、思いやりの心 “おもてなし” ○多様な文化芸術や優れた感性 ○ものづくりの基盤技術 ○安全・安心な社会

文部科学省として先駆けるに努力

オールジャパン

教育

- ・若者等によるボランティア活動の促進
- ・グローバル人材育成(英語教育・留学生等)
- ・日本人のアイデンティティ
- ・キャリア教育
- ・社会人の学び直し

科学技術

- ・成長を支えるイノベーションプロジェクトを創出
- ・科学技術イノベーション人材育成

スポーツ

- ・スポーツ・フォー・トゥモローによる国際貢献
- ・オリンピック・パラリンピックを安定的に遂行するための環境整備(ターゲットエイジ育成、地域スポーツ振興、新国立競技場の建築等)

文化

- ・「文化芸術立国」の実現(2020年には世界中から、アスリートと同規模のアーティストが集まる文化芸術交流のハブとなる)

官民一体 中長期の計画的実施

防災・減災によるまちづくり

東日本大震災・原発事故からの復興

交通網・都市基盤整備

雇用創出

国家戦略特区

クールジャパンの国際展開

地域活性化

観光立国

バリアフリー

etc

2020年を目指して、オールジャパンでの招致成功

オールジャパンでの「夢ビジョンJAPAN」の実現
～“新しいニッポン”を創造～